

東成瀬 図書館だより

〒019-0801

秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字上野 8-1

TEL 0182-38-8711 FAX 0182-38-8712

E-mail narusejdoukan@carol.ocn.ne.jp

2022.4月号 No.81

発行 東成瀬公民館図書室

☆令和4年5月の特集&新着案内

〈一般書〉

◎ 「本の処方箋」

神モチベーション	星 渉
幸せ上手さん習慣	星 ひとみ
子どものスマホ問題はルール決めて解決します	石田 勝紀
毎日が楽しい人の小さな習慣	『PHP』編集部
笑って生ききる	瀬戸内 寂聴
あなたは、もう大丈夫。	中島 輝
自己肯定感の教科書	中島 輝
親は9割お世話をやめていい	イゲット 千恵子
亀トレ	ユウトレ
年金大改正にそなえる本	TJムック

〈児童書〉

◎ 「絵本でまなぼう！」

どうぶつ四字熟語えほん	石井 聖岳
かんじのえほん	灰島 かり
たすひくねこ	にわ
九九をとなえる王子さま	はまの ゆか
プラスマンとカズカズせいじん	みやにし たつや
寿命図鑑	やまぐち かおり
ちきゅうがウンチだらけにならないわけ	松岡 達英
【ハピかわ】ことばのルール	吉田 裕子
とのさま！ねんせい	長野 ヒデ子
おなかをみせて！	島津 和子

◇今月のオススメの一冊◇

『いつでも君のそばにいる』

小さなちいさな優しい世界

リト / 作



「一枚の小さな葉っぱの上に広がる温かい物語に心癒される」と世界各国で絶賛！
見て、読んで、幸せな気持ちになれる絵本みたいな切り絵作品集。

『ひらがなだいぼうけん』

宮下 すずか / 作



ある夜のこと。らっちゃんがひらきっぱなしのした本から、なにやらこしょこしょ聞こえてくる。それは本の中の文字たちのおしゃべりで…本から飛び出た文字たちの冒険を楽しめる一冊。

※ 電話予約もできますので、お気軽にお尋ねください

☆図書室利用案内☆

5月の休館日

5/1(日) 3~5日(祝)
15日(日) 29日(日)

開館時間

午前9時30分～午後5時30分

休館日

・第1、3、5日曜日 ・祝祭日
・年末年始

図書の貸出

10冊まで

視聴覚資料

3点まで (DVD・CDなど)

貸出期間

3週間

★休館日の本の返却はブックポストへお願いします★



【お知らせ】



2022年 大賞決定!!

本屋大賞

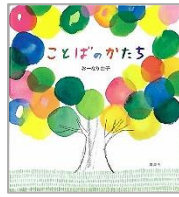
- 大賞 『同志少女よ、敵を撃て』 逢坂冬馬
第2位 『赤と青とエスキース』 青山美智子
第3位 『スモールワールズ』 一穂ミチ
第4位 『正欲』 朝井リョウ
第5位 『六人の嘘つきな大学生』 浅倉秋成
第6位 『夜が明ける』 西加奈子
第7位 『残月記』 小田雅久仁
第8位 『硝子の塔の殺人』 知念実希人
第9位 『黒牢城』 米澤穂信
第10位 『星を掬う』 町田そのこ

※ 全作品揃っています。
電話予約も承りますので、お問い合わせ
ください。

—第12回—

わたしのとっておきの一冊

つくしんぼ会員 高橋 亜実 さん



からのオススメ
『ことばのかたち』

おーなり 由子 / 作
講談社

私が今、紹介したい絵本は『ことばのかたち』です。

もしも話す言葉が目に見えたなら、どんな色や形をしているのでしょうか。美しい言葉は花のかたち?そして優しい声の色は桜色でしょうか?でも時には、思いもよらない言葉が誰かの心に刺さるのを目にしまうことも…。

私たちが普段相手に伝えている言葉が目に見える形になったら、言葉の使い方は変わるのかもしれませんが。そして言葉によって傷つく人も減らせるのではないのでしょうか。インターネットが普及するこの世の中で言葉の使い方はとても大切だと思います。たった一言で救われる人もいれば、逆に命をなくしてしまう人だっているのです。

この本を読んだ後、きっと言葉に対する意識も、そして使い方も変えることができると思います。みんなが大切な人に花のような言葉を届けられますように…そんな思いを込めて、この本をおすすめしたいです。

🍀 ぜひ一度読んでみてください。

読みかたリグループ



『つくしんぼ』コーナー

おはなし会は
5月7日(土)
10:30~11:00
です

会員のつばやき

会員 岡 光 さん

読書の喜び、楽しさをつくしんぼの会員は共有して活動しています。

絵本の魅力は、より優れた“絵”と“文章”で、生きる喜びや悲しみ、そして人間の素晴らしさを、ぎゅっと凝縮して表現しているところにあると思います。それぞれの感性で選んだ絵本を、読みの練習を繰り返し、読み聞かせ活動をしています。

しかし、“コロナ”というインベーダーに、こうした文化と芸術も動きが阻止されてきました。経済活動も、人々の心の豊かさも…です。

ウクライナの人々は、恐ろしい環境の中で、瓦礫の中で“歌って”心の絆を確認していました。その姿を見て、文化や芸術は、パンよりも大事なんだなと思いました。

4月9日、3か月ぶりに図書室でのおはなし会を開くことができました。手洗い、マスクなどの感染対策をしっかりやったうえで、文化的な活動ができたことにほっとしています。

